夕刊
新京日日新聞
發行所 新京日日新聞社
發行人 十河泰男 編輯人 松本 印刷人 谷啓二郎

日本橋通驛前 中谷時計店 電話三八五四

學資援助を種に 滿洲青年を引つ張る 支那教育家が狂奔

【新京二十六日發國通】滿洲國建國後治安は日を逐ふて恢復し各種文化施設も具體化しつゝあるを見て平津地方の教育者は恐慌を來し滿洲國青年が滿洲國の教育を受け支那を外國視するに至るであらうことを憂慮し學生教育會を北京天津に設立し成るべく多數の滿洲國青年を支那に留學させ支那に對する關心を持たせんと學生等が年末年始の休暇で歸滿中なるを利用し學資は學生教育會にて負擔するとて頻りに勸誘に努め奔走中である

黑河警備司令 周作霖氏赴任

【チチハル廿五日發國通】徐晉德逃走後の黑河警備司令に任ぜられた黑省軍騎兵第三旅長周作霖氏は部下の先頭部隊が既に無事黑河に入城したとの報告に接し前日横井少佐北部大尉の兩武官と共に當地を出發齊克線により赴任の途についた

諺文の 東明日報生る

昨春以來資本難の爲め難産であつた朝鮮諺文新聞東明日報は今回東朝鮮人民會聯合會長崔允周氏及び滿洲國協和會中央事務局の雲淳範氏等が周圍の勸告により愈々出資經營することに決し昨二十五日新京中央ホテルに創立總會を開き寄附行爲による財團法人を組織し新春三月を期し發行を出願することとなつた、在滿朝鮮人同慶の至りである、これは滿洲國唯一の諺文新聞で百萬の在滿朝鮮人指導並に現在朝鮮にある二千萬の朝鮮人に正しく滿洲國の實情を認識せしむべき重大な使命を有する言論機關であつてその將來は注目されてゐる

滿蒙資源調査探險隊 四日派遣に決定

【東京廿六日發國通】滿洲國の要請により陸軍では滿蒙資源調査探險隊を派遣すべく土岐次官を首班とし參謀本部で準備してゐたが愈々四月派遣する事に決定、我軍界の權威者に依囑し參謀本部より測量隊や活動寫眞班、在郷軍人より護衛隊新聞通信員等同行さ せる筈である

關税引上げ法案を 米國下院に提出せん

【ワシントン廿五日發國通】米國下院共和黨議員大會は廿五日假袖バートランドスネル氏の提唱に基く爲替ダムピング防止法案採擇に關する決議を全員一致を以て可決した同決議案は弗貨ひに低落してゐる諸國よりの輸入品に對する關税引上げ法案を本議會中に提出せしむる事を强調したものである

露國の昨年度 外國貿易額

【モスクワ廿四日發國通】昨年十一ケ月間のロシアの外國貿易額は十一億五千八百九十二萬九千金ルーブルに達して居る

內譯(單位千金ルーブル)
輸出 五二一、三元金ルーブル
輸入 六四七、八〇金ルーブル

對獨貿易は三億九千四百七十七萬五千金ルーブルであるが内輸出九千百十八萬九十金ルーブル、輸入三億二百五十八萬六千金ルーブル對英貿易額は二億五百三十三萬七千金ルーブル、輸出一億二千七百七十二萬七千金ルーブル、輸入九千二百六十一萬金ルーブル等勞農政府の外國貿易は對獨通商が第一位を占めてゐる

松浦博士講演

【四平街支局發】一日一食主義の提唱者として有名なる前京都帝國大學教授醫學博士松浦有志太郎氏の健康と安價生活に關する講演會を當地滿鐵道部主催で二十七日午後六時より滿鐵クラブに於て開催

執政府の 舊正祝宴

本日午前十時簡任以上の滿洲國官吏は執政府に參賀、執政に謁見、賀詞を捧げた後同十一時より侯見室にて執政始め同執政府高官を招き元旦を壽ぐ極めて質素な祝宴を張り祝盃を舉げた

黑河接收委員 廿五日黑河に入る

【黑河廿五日發國通北特派員】黑河接收委員周作霖旅長横井特務機關長一行は廿五日正午黑河に入城し、寒氣、凜烈なるも一行元氣旺盛

發送貨物

廿四日新京驛發送貨物左の如し(單位瓩)

△新京	大豆	一八〇〇
	高粱	三〇
	豆粕	二四三
	雜穀	一八五
	木材	三八
	其他	二三四八
	計	四六四四
△中東聯絡	大豆	二〇一〇
	豆粕	一二〇一
	計	三二一一
△吉長聯絡	大豆	三二七〇
	豆粕	六一
	雜穀	一二九
	木材	二〇七
	其他	八七
	計	三七五四
總計		一一六〇五

二十五日

二十五日の新京驛發送貨物左の如し

△新京	大豆	一六五〇
	高粱	三〇
	豆粕	二二一
	雜穀	四六
	其他	一四九〇
	計	三三三八
△中東聯絡	大豆	三一三〇
	豆粕	二四六
	其他	六
	計	四五八二
△吉長聯絡	大豆	三〇三〇
	雜穀	二四二
	木材	二〇七
	其他	四八
	計	三五二七
總計		一〇四四七

資本家の心境を語る

第一生命社長 矢野恒太氏談

今日の時勢は明治の聖代と違つて軍人は軍人、實業家は實業家、政治家は政治家と言つた樣に同じ家を護るにも大手は大手、搦手は搦手と互に手分けして自分の責任を果さねばならないのであるが、今日世界一般に此の點に欠けてゐるものがあるのではあるまいか、どうもその間が圓滑に行かない樣に思ふ、即ち天の時、地の利人の和が甚だ欠けてゐる、これでは國家を守れないと思ふ。老人の冷水ではないが誠に心配である。

□

滿洲セメントの件に付ては私も目下盡力してゐることは事實で、此の事業に就ては軍部の諒解も大體心得てゐるが滿洲の治安にも產業の開發にも第一道路を完成せねばならぬことは明白で何うしても國家の爲め急いで完成せねばならぬ、私は事業に依つて儲けるとか儲けないとか言ふことは毛頭ない。第一生命以外他會社の重役とか社長とかは可成りお斷りしてゐる現狀なのである。

□

滿洲問題が國際的に關係があるので國際聯盟の空氣が影響してゐるので資本家が滿洲に手を出さないのも一理由だと思ふ。元來資本家は臆病なものでまだ地味なものであるから堅實な資本家は矢鱈に手を出すものではない

寺内さんが朝鮮總督の時私は服部金太郎さん大橋新太郎さんなどと朝鮮に行つた當時寺内總督は「朝鮮には良い資本家が居ない、何んの事はない朝鮮人虐め許りやつて居るので困る、君達の樣な人々が來てくれると大變助かるが、何うかね」と、そこで私は早速に答へた「東京の立派な實業家が日本での仕事をやめて朝鮮まで來て仕事を仕樣とする人は恐らくありますまい。貴方がさう思はれるなら朝鮮で東京の實業家の樣な人々をお作りになるやうになさい」と語つたら深く諾いて居られた政治家や軍人は堅實な實業家を何處までも保護して安んじて事業を勵ませ樣るにしなければならぬと思ふ

□

國家豫算二十餘億圓中八億圓許りが軍事費だそうであるが日本は貧弱國で富强國と成らねばならぬ三井三菱の如き資本家がもう十軒もあつたらもないと思ふ、軍縮會議に於ても米、英の十に對して日本が六とか何とか云ふことは誠に殘念である。日本も米、英と十で對立しなければならぬそれには日本は富强國とならねばならぬ。

□

然るに最近共產黨とかファッショとか云つて盛んに資本家を攻擊して經濟統制を强調して居るが之は大なる誤りと思ふ、例へば支那貿易にしても小資本を以てタオルを輸出したものがあるとする、それでは少額の貿易しか出來ぬ、そこで資本の大なるものが之を企てたとする、貿易高は非常に多くなつて利益も從つて多くなる、又從來一少部分の範圍に限られたものが支部全土に及ぶと云ふことになる、然るに競爭を禁じ統制を嚴にする時は經濟的進展は出來ない故に、統制經濟は弱いものを助ける事にはなるが日本の富を增殖することにはならない。

□

先日も某紙の記者に會つた時に「若し君の社で今までの記者より安い俸給でよりよい新聞を作る記者があつたら早速前の記者を馘首して新しい記者を入れるではないか」と語つたのだが資本關係でも同じ事である。自由競爭は明治大帝が仰せになつた「官武一途庶民に至るまで各々其の志を遂げ人心をして倦まざらしめんことを要す」との御精神に胚胎するもので日本が僅々六十年の間に今日の如き長足の進步をしたのも其の賜物である、若しも明治維新が猶も百年も早かつたならば日本は米、佛に對して富においても劣るものではなかつたと思ふ。

今にして統制經濟をやると謂ふ事は封建時代即ち徳川時代に逆戻りする事となる

ロシアは共產主義で伊太利はファッショだが彼等は資本主義を呪ひ乍ら政權を握つた今日では資本主義を排擊してはゐない、日本に却つて其の反對の現象があり、或る人は寧ろ極端な批評をへ下してゐる樣である、何にしても餘り干渉し過ぎると却つて惡い結果を生むものであるからこの點は充分考慮してやらねばならぬと思ふ(完)

怪人凱歌

(百二十九) (禁上演映畫化) 須藤鐘一 (畫) 瀧 秋方

常磐城 (十一)

プログラムは進んで、會員の興味は愈々白熱した。

一同は醉へるが如く、たゆうつとりとして夢見るやうな眼を瞬きつゝ今宵第一の呼びもの「……むざんの夜嵐」の幕の揚がるを、今や遲しと待ち構へてゐるのだつた。

此の時、洋館の外へ、折からの闇を幸ひ、枚をふくんで押し寄せた十五六の黑影があつた。

會の方でも、無論、表裏の入口には見張りの番人をつけて、若し其の筋の手でも入りさうな場合には、すぐ之れを會場に報告させ、特別催しは瞬く間に片づけて、普通のクラブのやうに早變りをするだけの用意は、常に怠らなかつたのである。

然し、今夜はもう十時を過ぎ、その上、暗い寒い晩なので、見張り番の方でも氣をゆるした。それに會員たちが、内で醉ふ存分、歡樂を恣にしてゐるのに、自分たちは斯うして寒さに顫えながらぼつ然として居らねばならぬとは、如何にも氣がきかないといふ顏があるのだ。

で、最初は神妙に、表と裏の入口を見張つてゐたのが、二人が打合つて二言三言交すうちに、すつかり共鳴し合つて、油を賣り出した。

いつか、その中の一人がコック部屋へこツそり忍び込んで、洋酒の壜を一つ盗み出して來た。すると、もう一人は、どこからか鑵詰を見つけて持つて來た。

「さア、チビ〜やらうか」

「うん、やらう。御馳走だな」

「之れは何といふ酒だ？」

「何だかよく俺も知らねえが、兎に角やつて見よう。どんな味だらうなア」

二人はコップについで舌打ちしながらグイ〜と飲むのであつた。

「うん、ちよつと藥のやうな匂がするぢやねえか」

「しかし、この舌を刺すやうな味は素敵ぢやねえか」

「さやう。日本酒では、こんなきびしい味は感じられないからな」

「やつぱり毛唐は身體がでかいだけに、こんなきつい酒でなくちや滿足出來ねえんだらう」

「さア、もう一ぱい、どうだ？」

「うん、君も一つ重ねたまへ」

見張り番の二人は、こんな事を話し合ひながら、頻りにコニャックのコップを傾けてゐるうちに、烈しい醉ひが發して、やがてへゞレケになつてしまつた。そして玄關脇の門番小屋の中へ、二人は俵でも轉がしたやうに、ぶツ倒れてしまつた。

戸外へ、押し寄せて來た黑影は一旦植込みの中へ、姿を潛してしまつた。

暫らくあたりがしんとして、かすかな夜風に竹の葉のすれるのがうそ寒く聞えた。

そのうち一人の黑影が、音もなくそろ〜と裏手の入口に近づいて行つてドアに手をかけた。

ドアには錠をおろしてあるかと思つてゐたが、案外無造作に、ただハンドルを引いただけで開いた。

ドアが開くと、その黑影は闇の上に突立つて、右手を高くさしあげた。

植込に隱れてゐる部下に、何かの合圖をしたらしい。

入口の上の電燈は、薄ぼんやりしてゐたが、それでも闇の上の人影をほのかに照らし出した。

引きしまつた背廣服に牛ズボン、汚れた鳥打帽をかぶつてゐるが、鋭い鼻の先の少し尖り氣味で、窪んだ眼窩の奥から鋭い光りを放つ眼つき、ずんぐり高い背を少し曲げたところ、確に見覺えがある。

さうだ、彼は暫らく姿を見せなかつた白洲岩雄ではないか。

彼の合圖によつて、十五六人の黑影はバラ〜と飛び出して來て入口に集まつた。

誰れも一言も云はない。まるで影繪のやうに音もなく、入口から奥へ吸ひこまれてしまつた。……

白洲は一體、どうして、何の爲めに此處へやつて來たのか。そして彼が率ゐてゐる一團は何者であらう。

一同が奥に姿を消してしまふと白洲はドアを閉ぢて、自分も奥に入つて行つた。それから廿分間ばかりは何事もなかつた。

大阪商船出帆
門司、神戸(大阪)行 (毎偶數日午前十時出帆)
ばいかる丸 一月廿八日
亞米利加丸 一月三十日
はるびん丸 二月四日
香港丸 二月六日
うすりい丸 二月八日
●切符發賣所 滿鐵沿線主要各驛及各地ジャパンツーリストビューロー案内所
船車連絡切符(往復切符ハ汽車二割引、汽船一割引、通用期間二ケ月)
大連、門司、神戸間乘船切符(往復切符ハ復路運賃二割引通用期間三ケ月)
●專屬荷扱所 各地國際運輸會社支店
大阪商船大連支店

日日案内
三行 一回金五十錢
被雇度 一回金三十錢
五行 一回金八十錢
十行 一回金一圓五十錢
姓名在社 一回金十錢增
御申込みは電話三三〇〇番

質は三浦屋
貸出勉强、保管確實、洋服類各種揃ひました 破格提供
新京祝町三丁目三(羽花前) 三浦屋質店 電話三七七五番

小口金融
月賦、日賦、其他御相談に應じます
祝町二丁目四番地(西本願寺向右側) 新興社

急告
襖張替 新調 迅速、叮嚀 大勉强
長春東二條通十六番地 文藻堂 青井表具店 電話三四六四番

上等下宿空間有り
下宿問合せは組合事務所へ
東五條通り 滿日館 電話二八〇二

都山流 尺八指南
初心の方歡迎す
師範 西田方山 (ヤマトホテル裏)

▲職業紹介
無職ニテ困窮シタル者ヲ救濟ス並ニ求人求職者ハ無料紹介ス
新京勞動保護會

印刷
長春朝日通 三友社 電話三四三八番

滿洲國政府公報取扱
東朝、大朝兩新聞社發行物一切
大阪東京朝日新聞販賣所 大滿蒙新聞
朝日舍 栃尾新聞舖 東一條通二二 電話三三四二

1933の……魁スタイル
日滿一貫の流行柄
近々豐富入荷
本年は各種生地に可成の高騰を報じてゐます
洋服材料商 新京三笠町二丁目 松田洋服店 電話二一四六番

家族的……皆様の食堂
お心付は一切受けません
開店致しました
定食 朝十五錢 晝二十錢 夕二十五錢
御手輕御料理 一品洋食 丼類一式
御家族樣御揃で一度是非御立ち寄の程を……
日本橋通り(郵便局前) 志賀の家 電話二四六九番

呉服 京染 和洋雜貨
新京出張所 吉野町一丁目 萬屋方 (電話三〇〇七番)
㊀新考社 本店 開原大街 電話二五〇番 支店 四平街 電話五〇五番

店員採用
男店員 若干名
女店員 若干名
滿洲國人 若干名
何れも年齡十七、八才の人を要す 市内に確實なる保證人を要す
御希望の方は至急御來談ありたし
新京 百貨店 金泰洋行 電話三一五九・三一八八番

お茶

世帶道具、陶器類色々
三笠町二丁目 河久商店 電話三二〇四番

クラブ高級化粧品
容器に 包裝に 内容に
いつも流行の尖端をゆく
クラブの素晴しい新製品
モダンな紳士に…
シツクな淑女に…
クラブコールドクリーム ●正價五〇セン●
クラブはき白粉 ●正價三五セン●
クラブ植物性ポマード ●正價五〇セン●
主要品種別
クラブ固煉白粉 クラブ煉白粉 クラブ水白粉 クラブ粉白粉 クラブ洗粉 クラブビレン カテイフード クラブ美身クリーム クラブ美の素 クラブ化粧水 クラブ乳液 クラブ口紅クリーム クラブ眉墨 クラブ香油 クラブ植物性ポマード クラブブリ、アンチン クラブキニーネ香水 クラブルブラン香水 クラブキャラ香水
クラブ齒磨……クラブ齒ブラシ……カテイ齒ブラシ

聯盟反省せねば總會とは絕緣する
帝國代表部の二大方針は確固不拔たり！

【ジュネーヴ廿五日發國通】我代表部は二十五日午前十時代表會議を開き左の二大方針を決定せり

一、滿洲の現狀否認條項を中心とし全力を傾注し末節は我立場に實害なければ相當考慮する

一、第四項へ移る場合は其報告と勸告とが我立場と相容れねば東洋平和に責任を持ち得ぬ國際團体が、責任を有する我國を無視する不合理をせめて反省せねば最後的方法に訴へて總會と絕緣する

聯盟が誠意を示せば我亦協力せん
松岡代表は引き揚ぐるも事務局はこれを存置

【東京發國通】聯盟は滿洲問題に對する我が正常なる主張を無視せんとするが如き空氣ある爲め、政府は二十五日午前院內に緊急臨時閣議を開き日支紛爭を巡る聯盟再開の場合に處する帝國の最後方針に關して愼重打合せの結果、滿洲國問題に關する限り犬養前內閣當時決定の既定方針を堅持し邁進しつつあり尙ほその後今日迄約一ケ年に亘る帝國政府不斷の努力により聯盟を始め各列强の極東に對する認識も漸次深められるに至り其の結果滿洲問題に關する客觀的情勢は著しく好轉せるに鑑み、政府としては今後の局面打開善後策については可及的努力を拂ふべきであるといふことに意見一致した模樣である、卽ち聯盟十九ケ國委員會が愈々第十五條第四項の和協勸告書作成迄には今後十數日を要し此間の聯盟側の動きが最も重要視せられるが聯盟が我國に對し充分の誠意ある態度を示すに於ては我國としても聯盟に對する協力を吝むに吝ならず、松岡代表は引揚げるも帝國聯盟事務局は之を存置し、將來の聯盟事業に誠實なる雅量を示すべしとの意見に到達し、この間の措置一切を外相に一任し外務省と關係各省と充分の連絡をとり萬遺憾なき對策を講ずるに決した

起草委員會 具体案纏らず

【ジュネーブ廿五日發國通】今日の起草委員會は極めて非公式なもので、議事は全く公私會談に終始し、報告書の內容を如何にするかの槪念に就き話し合つた丈で、起草にも着手せず且つその內容に就ても何ら決定しなかつた、右會談中今日迄の經過を述べ和協が不成功に終つたと記述する部分と紛爭の事實記載の部分を合して一部とするか否やに關する討議も行はれたが是も意見纏まらずその儘散會した

起草委員會の報告書は單一か二個か未定

【ジュネーブ廿五日發國通】廿五日午後の九ケ國起草委員會第一回會合では第十五條第四項に基く報告書を一個とするか二個を作成すべきかが審議されたが何等決定せず若し二個とすれば、第一報告は第三項の和協手續その他一切の手續の失敗を記錄に止め第二報告書は第四項に基く紛爭の事實を述べた部分と勸告の部分を含むと見らる、單一報告案が通る場合は三項に基くものに止めることとならうと英國委員は單一報告を主張した模樣である、會合夜に入つてドラモンド氏が別項の方式案を作成したと傳へらる、委員會は二十六日午後更に續會引續き大いにピッチを上げ必要の場合は一旦散會、會議を開き起草を急ぐ筈だが相當長引くものと見られる

日本代表部の穩健な聲明書
一般に大好評を博す

【ジュネーブ廿四日發國通】廿四日午前十一時半日本代表部の發表した杉村、ドラモンド試案成立經過に關するプレスコンムニケは豫て各方面から日本側より何等かの意思表示があるものと豫期されて居た矢先とて非常な注意を引きコンムニケが終始穩健な態度で事實の說明を主として居る點は好評を博した、併し脫退聲明まで豫期して居た連中は寧ろ失望した模樣だが所謂日本案が提出される迄に此の種の複雜な經緯を辿つたもので始めて事情が解つたと首肯して居る

强がりが崇り進退兩難に陷た聯盟

【ジュネーヴ二十四日發國通】九國起草委員會は二十四日は終に開かれず、二十五日午前十時から開くと云つてゐるが、これも確實でない、聯盟は自からの强がりから第十五條第四項適用準備に着手はしたものの之を如何にして進んでゆくかに就き何等の確信がないのは確實で聯盟は今や進退兩難に陷つた形である、一方杉村、ドラモンド兩氏の私的折衝再開され、二十九日朝來壽するサイモン氏と日本側との折衝等が果してどの程度に進行し、局面打開するかに期待が繫けられてゐるが、情勢は日本にとり五分々々と觀られてゐる

起草委員會の出席者

【ジュネーヴ二十五日發國通】本日の九ケ國起草委員會議長はベルギーのブールカン氏で出席者左の如し

英國エデン氏、佛國マッシグリ氏、獨逸ケラー博士、伊國アロイジ男、瑞典ウエストマン氏、瑞西フーベル氏、西班牙サイイアト氏、捷克ベチラシュ氏

審議一時間二十分

【ジュネーブ廿五日發國通】起草委員會は白耳義代表ブールマン、議長となり審議一時間十五分、午前十一時四十五分散會した

起草委員會延長か
延期中私的交涉

【ジュネーブ廿六日發國通】九ケ國起草委員會の談に依れば昨日の委員會は半ば以上繁雜なる法理論に費されたが、これは大國筋が起草委員會を延引させんとの魂膽と見られ有力筋では廿七日再會するとも報告書が何時完了か豫想がつかないが其間に大國の妥協的私的交涉が進められるものと觀測されて居る

學良の政治的軍事的生命こゝ一二ケ月

【天津二十五日發國通】張學良の南京訪問の眞僞については今尙ほ諸說區々にして未だ信ずべき報道に接しないが、當地方消息通間には熱河討伐滿軍の着々進捗に伴ひ學良の北支に於ける政治的、軍事的生命は對內對外何れの點よりするもこゝ一二ケ月と觀測し近く北支に政治的大變化が起るであらうと見る者漸く多くなつて來た

代表部から謝電

二十五日滿洲國々務總理鄭孝胥氏並に同外交部總長謝介石氏から在壽府日本全權部に對し激勵電を發したことは既報の通りであるが、二十六日午前日本全權部から左の謝電を寄せ來つた

貴電報謝す本代表等は此上とも死力を盡し閣下等の御希望に背かざらん事を期す

日銀週報

【東京廿四日發國通】日銀週報(單位千圓)

發行兌換券	一、三二一、七四四
正貨準備	四三五、六六八
保障內譯公債	三〇九、八二九
政府證券	四一、三三三
證券	二九七、七一〇
手形	二八七、八六八

人事往來

▲志方砲兵少佐(關東軍司令部附)二十七日午前八前來京

▲小平總治氏(執政府內務官)二十七日午前八時四十分ハルビンへ

▲吉田大將(關東軍顧問)二十七日午前九時南行

▲松本砲兵中佐(關東軍特務部員)同上

▲張亞東氏(中東鐵路辦事處長)同上

▲係徵氏(實業部工商司長)同上

▲佐野豫備少佐同上

▲武藤關東軍司令官二十六日午後七時五十分歸京

▲小川中佐(獨立守備隊第一大隊長)二十六日午後七時五十分來京同十時南行

▲鈴木中佐(關東軍司令部附)二十六日午後七時五十分來京

▲村上理事(滿鐵)二十七日午前八時來京

▲本鄕賀一氏(大阪朝日新聞奉天支局長)二十六日來京國都ホテルへ

▲大邱大連旅館事務所長二十七日午前九時大連へ

▲高橋警務主任(新京署)二十六日午後四時三十分旅順へ出張

▲林チヽハル特務機關長外二名廿六日午後着京

▲金璧東氏ハルビン市長新京廿六日午後一時發飛行機で奉天へ

▲太田滿鐵チヽハル事務所長二十七日午前八時四十分チヽハルへ

氣溫と天氣

二十七日の氣溫高零下十度最低二十二度〇二十八日の天氣南西の風晴れ

在滿將士慰問
壽府代表激勵を決議
二十五日の衆議院

衆議院

【東京廿五日發國通】最終の質問戰たる廿五日の衆議院本會議は午後一時開會、傍聽席は婦人席の一隅を除き全部滿員、同廿分秋田議長開會を宣し、直ちに各派院內總務、幹事長共同提案の左記在滿將士慰問に關する感謝決議案並にジュネーヴに在る帝國代表に對する感謝激勵の決議案を上程

帝國代表への感謝激勵文

衆議院は聯盟會議に於ける帝國代表の努力に對し深甚なる謝意を表し、併せて東洋永遠の平和を確立するため帝國の既定方針を貫徹せられん事を望む

右決議す

在滿將士慰問の決議案

衆議院は我陸海軍派遣軍將兵が久しきに亘り滿洲の治安維持及び在留邦人の保護に任じ、刻苦精勵克く職務に奮彈するの努力を多とし、玆に院議を以て重ねて感謝の意を表す

右決議す

柏手裡に全員一致原案通り可決、斯くて陸相海相並に外相より右決議案に對する謝辭を表し終つて質問に入る

木暮武太夫氏(政)登壇 通貨膨脹による產業界を振興さすのは必要なるに、日銀によりオープン、マーケット、オペレーションをするのに不可であると非難したる後銀價低落の利益を述べ、卅弗に安定させんとする理由如何を質す

高橋藏相登壇 金輸出禁止後資金が投機に取られて產業界に向はぬために統制したのである、株界の近狀を說明したる後「銀價を卅弗から上げやうとも下げやうともやつたことはない」と例の通り辯し

朴春琴氏(中立)は朝鮮人は植民地の人として除け者にされ勝だが、政府は朝鮮人に參政權を與へないか朝鮮に師團增設の意向なきやと質問した、之に對し外相より滿洲事情の複雜を說いて、未だ在滿鮮人に滿洲國籍を與へ得ないのに對し遺憾の意を表し、陸相は朝鮮に增師の意志無き事を述べ、拓相は保護問題に就て答へ、三時廿五分外交問題の質問に入り

宮川貫一氏は 山海關、熱河等滿洲國に鄕良軍あるは國際信義にもとる、熱河討伐の如き微溫的態度を捨てよとの一事に、學良の本據を衝いては如何と强硬策を高調 三時四十五分除壇、首相、外相、陸相夫々善處の意を答辯す

宮川氏再登壇、答辯に不滿の意を表し、次いで民政黨の池田秀雄氏は農村問題を質問す、之に對し農相、文相、拓相簡單に答辯し

加藤鯛一氏(國同)登壇、過日の蘆田、松本兩氏の外交質問に對し釋明を求め、議會の立場を社會に表明すべしとて議長の回答を求め

蘆田氏(政友)よりあつさり釋明したが、松本氏は「誤解を生じたのは外相の責任なり」と述べて議場緊張し、外相の說明を求めたが外相之を拒否したので議場騷然次で小山谷藏氏(民政)增稅の急務を質し。政府退場者多く半數に滿たず、小山氏(民政)更に銀貨政策に言及し藏相增稅の時期にあらずとあつさり一蹴

上田孝吉氏(政友)の銀輸で質問を打切り午後五時五十七分散會

貴族院でも慰問感謝を決議

【東京二十六日發國通】貴族院では午前十時本會議に入り感謝決議案上程可決し、德川議長は松岡全權と陸海派遣將士に打電する旨報告の後質問に入り紀俊秀男再質問後水野甚次郎氏、加藤政之助氏等が財政問題と軍事問題、永野氏は產業上の施設問題、につき質問をなす豫定

【東京二十六日發國通】二十六日貴院に於ける聯盟帝國代表並に在滿將士に對する感謝決議全文は

聯盟に於ける帝國代表の努力に對し、貴族院は玆に感謝の意を表し併せて東洋永遠の平和のため所期の目的を遂成せらるゝ事を望む

陸海軍將士に對する感謝決議は

帝國陸海軍將士が久しきに亘り滿洲國の治安確保と在滿同胞の保護に任じ、よくその責務を全ふせる勞苦に對し貴族院は重ねて感謝の意を表す

蘆田氏の演說
俄然國際的に問題化
政友會聲明書發表

【東京二十五日發國通】蘆田均氏の外交質問でジュネーヴ方面に我が外交方針不一致なりと誤傳され居るを憂慮し政友會では午後零時半院內で首腦部會議を開き協議の結果、山口幹事長の名を以つて聲明書を發すると共に本日の本會議で宮川一貫氏が外交質問を行ひ幣原外交を攻擊して一層自主的强硬外交を促すべき旨を述べ誤解を一掃した

芦田氏釋明演說

【東京二十六日發國通】蘆田均氏の議會に於ける釋明演說要旨左の如し

本員の主旨は政友會の聯盟に對する既定方針に基き聯盟に對する政府の主張は勿論支持するが然し聯盟の行動が我が利益に反するものなら斷々乎として脫退すべきではないかと主張したのみである

近來政府の遣り口は腕に語...

鈴木總裁の名で
松岡全權に釋明電報

【東京二十五日發國通】ジュネーヴの松岡洋右代表は鈴木政友會總裁にルーター電の傳へる蘆田氏演說趣旨は事實か此際迷惑すとの電報有り、政友會では直ちに院內に首腦部會を開いて協議後鈴木總裁の名をもつて、ルーター電の傳へる事實絕對に無し政友會の今日の下院に於ける決議の如く代表の努力に感謝し、我が既定方針一貫につき最善の努力を熱望してやまぬと松岡氏へ返電した

廿六日の衆議院

【東京廿六日發國通】施政方針に對する質疑を終へた衆議院本會議は豫算總會に主力を奪はれ加ふるに前日の加藤氏の議事進行に關する發言問題で紛糾、定刻一時に遲るること五十分漸く開會直ちに休憩

三時十三分再會、待ちほうけの傍聽者を喜ばす、議長は同二十四分開會を宣す、議事進行に關して發言を求めて土屋淸三郞氏(民)登壇 議長は昨日卒先して議會振肅委員會を設置し、議事進行の發言は直接議事に關係あるものに限ると申合せたにも拘はらず昨日蘆田氏の質問に對する加藤氏の發言を許したのに議長自ら議會振肅の趣旨に反するのだ、議長の重職に鑑み自重せよと迫つて議場騷然、議長の處置は誤つて居ないが議會振肅にはこの上とも十分注意すると釋明し漸く日程に入り八年度一般會計歲出の財源に充つる公債發行に關する法律案、他二件を一括上提(政府提出)堀切大藏次官理由を說明、質疑に入り田中貢(民政)政府

もめ點がある、聯盟對策として犬養內閣當時には十五條の適用を留保しながら現內閣はこれが適用を認めて了つた、而して今尙ほその適用につき論議してゐるが政府は今の場合大所高所から政治的に解決するの方法を講じなければならぬ、然らざれば我が全權は自由の手腕を振へない

又滿洲問題に於ては我が國策の根本たる以上內閣諸公は全力を盡して當るべきなるを本員等の見る所では內閣諸公も內田外相も全人格を傾到してゐるとは思はれない、內田外相の遣り口は兎角自主的外交に缺くのを遺憾とする、外相自ら輿論の先頭に立てと奮起を促した次第である

貨幣問題と通貨問題に關して例の奇辯を張り乘け氏政を衰はせ、次官は之を藏相に傳へる旨答へ四時十分國民同盟の小山谷藏氏公債の消化方法に就いて質問し、藏相の答辯は適當の機會に讓ることとなり右案は委員附託とし、次いで鐵道敷設法改正案を上提、三土鐵相から說明があつた

陸相貴院で答辯
國防に就ては懸念の要なし

【東京廿六日發國通】貴族院本會議は午前十時三分開會、帝國聯盟代表及在滿將士に對する感謝決議文を可決し、陸海兩相より之に感謝の辭を述べ、次で水野甚次郞氏起つて國防に就き質問せるに對し、荒木陸相登壇

國防については萬一の場合支障なきまでに充實を圖つて居り今後も益々充實すると答へ、次いで大角海相より空軍省の設定につき齋藤總理及陸相より兵備改善費につきそれぞれ說明あり鳩山文相は學生の思想惡化防止の爲め教員全部が思想善導に當るべきだと述べ、十一時五十八分散會した

豫算案審議順序決定

【東京廿六日發國通】衆議院豫算總會は左の如く順序決定した

豫算總會 廿六日より二月一日迄

分科會 二日より六日まで

各派總評決定 九日

分科會決定 十日午前

斯くて十日午後一時から豫算總會を開き各分科會主查から報告を受け討議の上決定、十一日十二日は休會十三日は特に本會議を開き豫算案を上程

增稅斷行を藏相聲明

【東京廿六日發國通】藏相は二十六日豫算總會で增稅斷行は內外情勢によつて前年度豫算に照らし斷行の旨言明した

社告

新京麻雀大會ハ參加有志多數ノ希望ニ依リ來ル貳拾九日(日曜日)午前拾壹時ヨリ開催ト變更シマシタガ從ツテ締切申込期日ヲ廿八日午後四時マデ受附ケマス

新京日日社

新京麻雀大會

日時 一月二十九日午前十一時ヨリ

場所 祝町聖德會太子堂

會費 金二圓也 申込と同時に前納參加券と引換

締切 一月二十八日午後四時

申込取次所 天野商店 東一條通舞臺軒前 電二、九六七番

中央麻雀俱樂部 三笠町一丁目大和ホテル裏 電二、七八三番

吉野麻雀俱樂部 吉野町三丁目記念館前 電二、六三九番

注意 參加申込者は必らず四人を一組として申込む事麻雀卓及麻雀パイは必ず持參の事

一、競技規定は當日當會場に揭示す

二、申込は必ず四人一組となつて一團体を作り申込む事

三、競技開始は來る廿九日午前十一時なるを以て同日二十分前迄に全部參集されたし

四、組合せ抽籤は當日當場にて行ふ

五、優勝戰參加資格は二十九日午後五時迄に獲得したるものとす

六、決勝戰は右の三勝者を以て更に三回戰を行ひ決するものとす

七、賞品、個人賞一等より十等迄團体賞一等より五等迄とす

主催 新京日日新聞社

給仕雇度シ 尋常小學卒業程度 日本橋南 大倉組

外交數名募集 年齡二十才以上二十五才迄 履歷書携帶本人來談 新京大馬路四九八但(滿洲國郵便局前) 田村商會 電話三九四九番

森洋行 新京中央通四八 (電話)3873

取引先信用調查 各種企業調查 人事秘密探偵 家庭及商品紹介 經濟事情通信 大正十年創業 全國各地同業聯絡 秘密嚴守 損害豫防機關 新京老松町十一番地 新京興信公所 電話三三五〇番

着荷案內 熊岳城産の紅玉リンゴ(百目金十二錢) 箱入のモノモアリマス 皆さま 季節に應じふとん綿、たんぜん綿 廉價販賣致し居ます 蓬萊町一丁目 調辦所 電話二三五三・二〇七三番

純粹風ハリウッド式 フリージヤ美容室 新京中央通大阪屋號向橫町 新京常盤町一丁目六番地二

〔東京廿六日〕國…石油の內地販賣權獲得を自重…は各方面から注目されてゐた…氏の動き…石油會社は大いに…き成行を重大視してゐるが愈々これが內地石油界に脅威を與へるに

廿日（廿六日屆）

…日長女道子 一月十三日午後二時四十分出生 △路月町三丁目六十三ノ四黒…

零時二十五分出生 △新京富士町三丁目四番…山正治氏二男督男 一月十九…

奉天後五、〇〇 レコード 錢行金銀相場 商業通信社 新京後五、二〇 演藝

新京後七、〇〇（英語） ニユース 新京後七、四五 ニユース

東京後八、…京中央放送局編輯

…新京後八、〇〇（露西亞語） 新京後八、〇〇（朝鮮語） ニユース

新京後八、三〇（內地向） 東京後八、四五 ニユース 京中央放送局編輯

痴漢か强盜か？
日本人妻女襲はる
犯人の手首に嚙みつき避難
三笠町の裏通りで

二十五日の晩まだ宵のうちある人妻が三笠町の裏通りで邦人の醉漢か强盜かに襲はれ、極力抵抗したので平手で頰を毆られたくらひですんださいふ奇怪事があつ……被害者から

『特に』名を秘して貰ひ度いとの事であつたから省くが東一條通菓子商廿泉堂の横を入つた細い横町三笠町一丁目の裏通りに住む會社員某の若い妻女がすぐ近くの實家へ用達しに行つて歸りその薄暗い路地に入る時後から人が來るけはひがしたのでふりかへつて見ると日本人なのでそのまゝ歩んでゐるうしろから突然抱きついて來て羽がいじめにしながらみだらなことを云ふので大聲をあげて助けを求めやうとすると靜にしろ金を出せと態度が變り、なほもしつかり抱きすくめる聲を立てるのを防ぐやうに片手が顏のところへ來たのを幸ひ嚙みついたので痛さに吃驚したかそのまゝ突き倒して逃げ去つた、その妻女は虎口をのがれ自宅に歸つて始めて氣がつくと唇が血に染んでゐるから怪漢の腕が

『手首』かに相當の傷を殘したものと思はれると其筋へ屆出たので目下搜査中である

小學校教員
廿五名新採用

〔大連廿五日發國通〕滿鐵學務課では管內小學校教員として內地師範學校卒業者廿五名を新採用と決定目下各州縣知事宛推薦方を依賴してゐるが鷹出揃ふを待ち三月初旬迄に銓衡を終へ一ヶ年の教習を行ふ答

血染の國旗や
血書の激勵文
中學生から心こめて

先般第〇〇團が朝鮮を通過して北上した時將兵の旺盛なる指揮と悲壯なる決心に感激した京城中學校一年生山本光世君より血書を以て「後に我等あり皇軍頑張れ」の激勵辭を又龍山中學校五年生村上徹郎君より血染の國旗を關東軍司令官宛に送附して來た、京城府漢江〇の匿名の青年より「正義を以て不義を打て東洋問題解決と世界平和の鍵は大和民族が握りしめた大使なり勝利を祈る」の血書が到着し、受領した關東軍司令部では今更ながら銃後の熱誠なる後援を思ひ感激してゐる

南嶺に新京
最初の
普通夜學校開設

新京郊外南嶺に在住せる鮮人子弟は現在五十餘名に及ぶも同地には適當な教育施設なくそれかと言つて附屬の普通學校は餘りに距離が遠いので在住鮮人は之が對策に就て腐心協議中であつたが最近內鮮有力者の後援を得て普通夜學校を開設するに決定準備に着手した、なほ新京における夜學校はこれをもつて嚆矢とする

領海測量の
嫌疑で
露國捕鯨船長
送局さる

〔橫濱二十六日發國通〕小笠原父島の二味港に入港し領海測量の嫌疑を受けたソヴィエトの捕鯨船アリユート號は二十六日拔錨丸と共に橫濱着アリユート號船長は東京檢事局に送局された、取調べ長引けば船は芝浦に廻航される

草野機搜查に
僚機勇躍出動
道德營子の南方に
立上つた疑問の灰色の煙

〔遼陽廿五日發國通〕飯田特派員〕二十五日開魯より歸來せる偵察の報告によれば二十四日午前十一時頃通遼西方約四十キロメートル道德營子の正北方ハルモト方面に三彈の爆彈投下の音響を聞いて間も無く、大型飛行機が次第に

『高度』を低下しつつ西北方より道德營子部落に向け飛翔、同部落を去る南方六支里の地點に不時着陸し、約三十分の後に至り着陸地點方向に灰色の煙りおびたゞしきを見た、同飛行機の不時着と同時に道德營子にある湯玉麟の第十旅第五十六團騎兵多數着陸地點へ向つてかけ付けた模樣である、以上の情報に接した飛行第〇〇隊長岩下大佐は直ちに命令を發し一緒に第〇中隊〇機を同地點に派し空中搜査を命じた命を受けた村田中尉を隊長とする〇機編隊が〇〇〇機は僚友草野機の安否を、一刻も早く知らんものと、吹き荒ぶ嚴寒の烈風を衝いて午後一時十分勇躍僚機を從へ、西方恨み深き道德營子の空に向つて飛去つた

『機上』には不安の中にも一同生存を希ふ心よりなる熱きお茶を詰めた五個の水筒と若干の白米包に嚴重な投下裝置を施して携行した、尙ほ二十六日は早朝より空陸相呼應して、道德營子附近の細密な搜査と救援に出動の答

四平街から
も搜査に

〔四平街支局發〕魯爾近の僞東軍攻擊のために二十四日午前十時單機通遼を發した草野大尉以下五名の搭乘せる〇〇機の行方は前後三回に亘る通遼ハルモト間の空中搜査も空しく草野機を發見する事を得ず空中搜査を中止し二十六日午前七時〇〇技隊長の率ひる〇〇隊と飛行將校〇〇名はトラツク、乘用車〇〇台に分乘し地上搜査のため出發〇〇方面に向つた

市政公署
鮮人窮民を潤す

新京朝鮮人居留民會は舊臘來在留鮮人中の窮民を調査してゐたがその結果二百六十世帶ある、事料明之が救濟の一助として舊年末に際し二百三十圓を支出、家族三人以上は白米二升現金四十錢、三人以下は白米一升現金三十錢を配給した右資金はさきに新京特別市政公署が避難鮮農救濟の爲同居留民會に寄附した粟丁五石を避難者中の資力ある者に拂下げた其代金を取立て之にあてたのである

思ひ出の
早蕨遭難者
吳鎭守府で
海軍葬執行

〔東京廿五日發國通〕舊臘七日臺灣沖で遭難した早蕨の門田艦長以下殉難將兵の葬儀は廿八日吳鎭守府で海軍葬を以てとり行はる事になつたが、長ろ湧りでは廿五日右に對し祭來金一封下賜の御沙汰があつた

實費を徵收する事は
何等かまはぬ
新京ビル浴場問題で
新京署の見解

既報新京百貨店內の有料浴場男女混浴問題について新京署保安係では左の如く語つた

實費を徵收する事は何等差支なく、寧ろ當然の事で營業者として設備し其れに入用の費を取るのは勿論であるが、店內者の爲め浴場を營める事は不可能であるが、止宿人の外、外來の友人達を入浴させる事は甚だ面白くない事でこれは經營者へ兼ねぐ\注意を與へてゐる、なほ男女混浴の事も現に時間を制定してゐるに拘らず、女子の入浴時間に不心得の男子が無理に入浴したものであらうと思はれ、風呂番が滿洲人である爲に監督が行屆かなかつた結果で當局としても決して放任してゐるわけではない

丁士源使節
三月末歸國

〔ロンドン廿四日發國通〕ロンドン滯在中の滿洲國外交使節、丁士源氏は廿五日ロンドン出發、パリー、ブリユツセル羅馬等に赴く豫定新京歸着は三月末の見込

客車の溫度を
保つ試驗を行ふ
滿鐵のサービス改善

滿鐵々道部では冬期旅客車內の空氣乾燥の懸念を緩和し、旅客に滿足させ、且つ旅客車保存狀態を良好せしむるため三十日、二月一日兩日大連午後十時發、新京午後零時發旅客列車に給濕器七個自記寒暖計三ケ、自記濕度計二ケ、風速計一個を裝置の旅客車一輛を連結し試驗を行ふことになつた、同試驗の結果好成績を見れば各旅客列車に給濕器を裝置すると、なほ試驗測定事項は

一、外氣溫度
一、外氣濕氣
一、室內溫度
一、室內濕度
一、乘客數
一、風速

止宿人側で
經營
ビルヂングでは
今後關知せぬ

新京ビル經營者側ではこかしの風評を生んでゐた店內浴場の今後の維持を止宿人側に一任する事となり使用者各自が記名し二十七日新京署保安係へ願ひ出た

麻雀大會の
副賞續々寄贈さる

本社主催新京麻雀の副賞として各方面から寄贈された主なるものは大優勝杯、革製大トランク蓄音機、柳條製トランク其他夥しい數に上つてゐる

南海の小菊

先に南海ホガラカ二人組の一人菊千代姐さんを御紹介しました、つゞいて相棒である小菊姐さんも御紹介する筈の處寫眞がおくれたので遂に今日に及んだのであります、兎に角この小菊姐さんと菊千代姐さん、どつちも敗けず劣らずのホガラカさをもつて居ります、如何に彼女がホガラカであるかさいふ實證にちとお話は古くなりましたが、ホガラカさの見本を御紹介します、嘗、彼女が命までもと思つてゐた彼氏どうしても彼女と別れねばならぬことになりました、彼氏は熱涙ボウダ切々たる衷情を彼女に訴へる、然るに彼女、その形勢既に挽回すべからざるを察知するや、男はいくらもある、撲りごり見ごりだと心がきまると、さアもふホガラカなもの、義理にも流さにやならぬ別離悲愁の淚がどうしても出ずツツとツバキで眼をぬらした——……

北陸、信越線
の大雪で
列車大遲延

〔高田二十六日發國通〕北陸方面の吹雪は二十五日以來愈々猛烈となり、金澤發宇野氣行急行列車は午後十時十分途中五尺八寸の積雪に埋まつて立往生した爲め同列車は八時間九分遲れて二十六日午前七時九分直江津に到着した、目下除雪人夫六百名出動除雪中信越線直江津關山間も約二百名出動除雪中にてラツセル車も盛に活動してゐる

入學願提出が
適齡兒の三分一
無關心な四平街の親御

〔四平街支局發〕當地方事務所公學係では昨年末より二十五日まで明春新學年に入學する兒童の入學願書を受付けてゐたが締切後の屆出を見ると僅か五十名に滿たず本年度の當市適齡兒童數は百四十餘に達して居るに拘らず三分の一の屆出と云ふ狀態で係員も小供に對する親達の無關心にあきれて居る此れが爲め係では適齡兒童の家庭を訪問し屆出の督促をする事に成つた、こうした事は前例のない事だと

普通學校は二月一日から新入生の願書を受付ける、また公學校は本年度卒業生が二十五名內上級學校に進む者が十名旅順中學堂に七名、奉天南滿中學堂に三名であり、新入生の願書受付二月二日より、募集人員は六十名、毎年應募數は百名を越へ、二學級を增設せねば到底收容する事が出來ない狀態である

國際愛の破局
中野正剛氏令弟夫妻
離婚訴訟

〔東京廿五日發國通〕中野正剛氏の令弟中野秀人(三六)氏對スペイン系の美人フエリシタ夫人の國際的愛の破局公判は二十五日午前十時五十分東京地方裁判所に於て杉浦裁判長係りで原告側清瀨一郎、杉浦[illegible]雄兩氏外二辯護士でフエリシタ夫人側鳩山秀夫外二辯護士にて夫人の美貌と國際愛が人氣を呼んで午前三時早くも傍聽人が詰めかける騷ぎ、女校生徒の參觀、婦人雜誌記者三百餘名に上つたが入廷を許された者百名に過ぎず、公判は辻堂也のラヴレーが出たり夫人の愛の有無等から裁判長も仲に入つて示談を慫慂したが中野側は被告の旅費其他人道上の考慮はなすが離婚は撤回出來ぬと主張し結局三月一日六名 證人を喚問することとなつた

氷上ホッケー
明大遠征軍敗る

西公園スケート場に於てスピード競技に引續き午後二時より行はれた、新京商業對明大遠征軍氷上ホツケー競技は左のスコアーにて新京商業の大勝に歸した

	商業		明大
第一回戰	二	對	〇
第二回戰	四	對	〇
第三回戰	四	對	一

明大軍不振
オール新京
對明大

既報の如くオール新京對明大のスケートスピード午後一時より西公園スケートリンクで開始された、流石の明大軍もリンクの狹小な事と氷質の固き爲十二分の力を發揮し得ず成績豫想に惡く左の如き記錄で新京軍大勝した

五〇〇メートル
新京、吉村選手(商業) 五十一秒十分五
明大 崔選手 五十六秒十分五
五〇〇〇メートル
新京 李選手 五十四秒十分五
明大 金選手 五十六秒十分五
一五〇〇メートル
新京 朴選手 二分五十九秒五分一
明大 潘選手 二分五十九秒〇三

必勝を胸に
小學生征途へ
廿九日の全滿スケート大會

廿九日奉天國際運動場に於て開催される全滿小學校スケート大會に出場する室町小學校生徒十三名は吉田訓導に、西廣場小學校生徒十九名は西村訓導に引率され必勝の覺悟を小さい胸に秘め二十七日午後四時三十分發列車にて奉天に向つた、なほ一行は三十日朝歸京の豫定である

十時東京市助役
收容されん

〔東京廿六日發國通〕東京市會疑獄は市長選擧に絡る瀆職といふ新事實が起り當局では義に强制收容した十時第三助役、石橋保險局長神田市會議長等に對する贈賄事實に就いても確證を握るに至り今週中に起訴することゝなつた

治安維持法
違反で
河上博士正式起訴

〔東京二十六日發國通〕中野署に留置取調べ中の元京大教授法學博士河上肇氏は昨年八月教黨資金として一萬數千圓を提供したる行爲につき中央部より入黨の指令を受け正式に入黨したことが判明したので二十六日法相の決裁を得て正式に治安維持法違反として起訴市谷刑務所に收容された

滿鐵爆破の
犯人逮捕
犯人は匪首靠天の子分

〔奉天廿六日發國通〕先般來滿鐵本線を爆破した犯人逮捕に關しては日滿雙方で嚴々裡に活動中であつた處、廿四日感王寨に於て公安隊の手で逮捕せられた靠天匪の小頭目で通稱東邊公事と云ふ者が匪首靠天の命を受けて爆破を行つて居た事が判明した、犯人の自白する處によれば使用した火藥は撫順から船で大孤山附近に陸揚げしたもので爆破は夜間乘馬隊を組織し、線路に近づき點火するや全速力で逃走して出つたものであると云ふが、今回の遼西一帶の大討伐で靠天匪は大損害を受けて鐵路より遠く沙嶺方面に逃走して居りこれが潰滅も近日に迫つて居ると云へば、今後は鐵道被害もなくなるであらう

山海關 戰鬪の
忠勇美談（I）

一月三日午後一時三十分阿部一等兵の所屬小隊は山海關西方約三軒孟家庄南側に於て優勢なる敵と遭遇し、戰鬪刻々激烈となるや同一等兵は機關銃分隊彈藥手として此の戰鬪に參加し、彈丸雨飛の間にありて泰然として敵情監視彈藥運搬等に任じ熱心に分隊長を補佐した、同分隊は自動火器を制壓する爲猛烈に射擊を續行し、屢に彈藥補充を要する事が再三で、同一等兵は二回に亘り躍進し、彈藥を運搬したが、午後二時三十分第二回目の彈藥運搬に當り「そら來たぞ」彈藥箱を銃の位置に投込み更に堆土の上より敵線を注視し「分隊長殿右の方に又機關銃が現はれました」と報告するや否や、一彈は同一等兵の腹部を貫通した、傍の戰友は直ちに之れに繃帶を施したが、一等兵は勇み鼓して軍歌「戰友」を唱ひ「死んだら骨を賴むぞ」との一句に至るや分隊長高木上等兵も亦淚を揮つてこれに合唱した、午後三時症狀漸次重態となるや一等兵は先づ乘馬討伐小隊各部隊長の氏名を呼び、次に小隊長及齋所屬機關銃隊長の氏名を連呼し最後に天皇陛下の萬歲を三唱し、午後三時十分從容として瞑目した、嗚呼、阿部一等兵の從容たる最後は死を見ること歸するが如き皇國軍人の典型と云ふべく、死に臨んで各上官の氏名を呼び最後に聖壽の無窮を絕叫したるは以て平素の覺悟を推するに足る、殊に後刻遺骸を檢せしに覺悟の程を示す、淸潔なる襦袢を纏ふて居た

一月二日山海關の攻擊に當り佐々木一等兵所屬の乘馬討伐小隊は山海關西方約三軒孟家庄附近に於て午後二時以後砲を有する數百の敵と激戰し同一等兵は第三分隊手馬兵として分隊の後方にあつたが、敵は迫擊砲を以て手馬を射擊した爲負傷せる馬は狂奔して止まず、同一等兵は自己の責任上飽く迄手馬を離さず偶々午後三時頃我が方置を包圍せる敵は擲彈銃射擊を開始し、分隊長金野軍曹及安東上等兵は負傷するに至つた、金野軍曹は負傷後直ちに後方を顧みて「危いから伏せ」と命じた、此の時佐々木一等兵は狂奔する手馬の疾走を持ちたる儘半身を引き上げられ、敵の一彈は忽ち右胸部に貫通し剛毅なる同一等兵も力盡きて倒るゝに至つた、佐々木一等兵の責任觀念の旺盛なる事實は驚嘆に堪えず、戰友の死傷續出して戰鬪慘烈なる時身を敵彈に暴露する手馬を放たずして重傷を負ふに至れるは眞に軍の龜鑑と稱すべきである

本騎隊は旅團の右第一線として六角堂附近を攻擊の爲展開し午前十時砲兵の破壞と協力して前面の敵を射擊し、第一線部隊逐次前進し右第一線第五中隊は敵前約百五十米に接近するや、城壁下にありし掩體より突如縱射を浴びせ死傷續出するや直ちに之を撲滅、續いて六角堂にありし掩蔽銃眼よりするMG現出石田中隊に猛射を加へ前進困難、死傷續出するや、機を失せず之れを破壞し該中隊の突擊を成功せしめた、當時山砲は最火線に在り裝置破壞し使用不可能となるや、分隊長以下危險を冒させず棒抗を以て打擊發火せしめ危險を救ひ、而も命中確實眞に其意氣壯烈責任觀念の旺盛なる皆感嘆せざるものなし

子爵を捨て
メキシコへ！
前田利光子（二九）

〔東京廿六日發國通〕昨年暮單身メキシコから歸朝した子爵前田利光氏(二九)は爵位を棄てゝ海外發展に專念すると云ふので華胄界にセンセイシヨンを起してゐたが今回其の目的を果したので愈よ改め二十六日橫濱解纜の樂洋丸でメキシコに向け出帆した

吉、吉敦局催宴

吉長吉敦鐵路管理局滿鐵代表酒井清兵衞氏は二十四日午後六時から八千代館に在京新聞通信各社代表を招待晚餐を共にし川邊技師長以下幹部陪席上吉長吉敦線の現狀並に新線の進捗狀態を語り寬いで歡談二時間半餘で散會した

劇壇 松竹蒲田 松竹下加茂 右太プロ 松竹樂劇部 大合同總出演！
空前絕後『忠臣藏』の決定版！

監督脚色 衣笠貞之助
撮影錄響 杉山公平 土橋武夫
全二十卷同時封切 赤穗の卷●京の卷●江戶の卷

松竹大合同 オールトーキー

忠臣藏

蓋世不出！世界に誇る日本映畫の一大金字塔 待望！嵐と湧かせて愈よ！

映畫報國の一大精神の下に三十萬圓の巨費三ケ年に亘り撮影計畫で八ケ月の撮影日數！凡ゆる全記錄を破つて大松竹が全機能を傾け盡した古今未曾有の本邦トーキーの一大エポツクだ！

豪華配陣
大石內藏助 阪東壽三郎
淺野內匠頭 吉田忠左衞門 林長二郎
脇坂淡路守 堀部彌兵衞 市川右太衞門
吉良上野介 上山草人
大石瀨左衞門 近藤源四郎 高田浩吉
柳澤出羽守 加藤遠江守 岡讓二
玉蟲七郎右衞門 勝田新左衞門 阪東好太郎
妻みつ 千早晶子
不破數右衞門 齋藤達雄
妻お縫 飯塚蝶子
大高源五 大山健二
大石主稅 瀧新太郎
內藏助妻理玖 川田芳子
大野九郎兵衞 岩田祐吉
千阪兵部 藤野秀夫
同右衞門七 阪東壽之助
碇床主人 坂本武
大竹重兵衞 志賀靖郎
箱崎屋六 日守新一
小山源五右衞門 品川豐後守 三島屋の亭主 關操
浮橋太夫 八雲惠美子
おるい 岡田嘉子
八重 田中絹代
母 鈴木歌子
堀部安兵衞 小林重四郎
小林平八郎 尾上榮五郎
淸水一角 中村吉松
瑤泉院 川崎弘子
戶田局 柳咲子
其他總出演 オール松竹顏見世映畫

前後篇同時公開
一月二十七日封切三日間
新京中央 松竹共營 長春座

凄艶紅涙双（一九〇）

（上演上映）　鈴木彥次郎作　飛鳥久緒畫

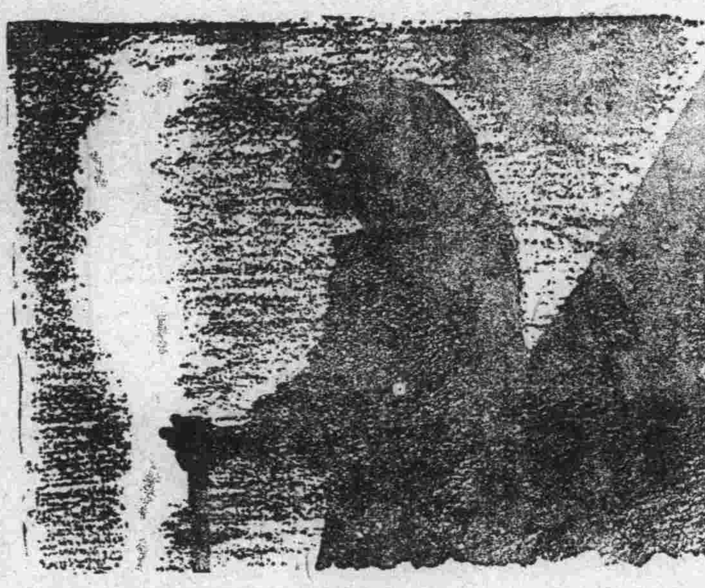
たから、山縣狂介は、或ひは河を渡つて、横渡の兵を激勵し或ひは小千谷の軍營に戻つて諸將と軍議をこらし、ひたすら、長岡を陷れんと、苦心してゐた

——さうした夜更けのこと、山縣參謀は、激戰に疲れた頭を休めんものをと、小千谷の陣營から、獨り出でて、夜色沈々たる北越の野に眼をはなてば、露營の篝火もやうやく影ふけて、眞ッ暗な空に淡く映するばかり、

明日をも知らぬ身をわすれて靜かに眠る諸兵の夢は、いづこに通ふのであらうか！

人聲も絶へた陣中には、たゞ大河の流れが、ごう〳〵と、聞こゆるのみである

參謀は、ふと、不識庵謙信の吟詠を想ひ起した、そして、



切々と胸に迫る長途遠征の苦慮を、しみ〴〵、感じた。その折、口をついて流れ出でた即吟こそ、有名な「あだ守る」の一首だつたのである。

——山縣は、そのまゝ、いつまでも、獨り、立ちつくして地形を案じてゐた

そのうちに、ふと、或考へに到達した

——減水を待つてゐては、果しがない。いつそ、水かさの增した信濃川を利用して、長岡を拔く方法を構じやう。

と、悟つた時、彼は思はず、會心の笑みをもらした

西軍の作戰は、翌日から、がらりと一變した。

朝日山をめがけて、うちそゝぐ砲擊は今までの緩慢な態度と變り頗る猛烈をきはめた

「しめた！愈々、敵は、この方面に、主力をそゝいで、攻擊する積りだな！よし、もう暫く、支へろ勝利は間近にせまつたぞ！」

山下の同盟軍は愈々得意になつて、防戰をつゞけてゐる

なぜ？——もし、朝日山を敵が主力を傾けて、攻擊してくるなら、見事、總督蒼龍窟の奪戰が成功するからである

蒼龍窟は、長岡にあつていゝの形勢を觀望しながら、しきりに、會津の援軍を待つてゐた、彼は西軍が、朝日山占領に熱中してゐる間に、別軍を迂回させ、一擧、小千谷に於ける西軍の本營を衝かうと計畫を立て、ゐたのだ！

だが、山縣狂介も戰場往來の名參謀、今更、朝日山を力攻めにするやうな愚擧に出るはすはない

「やッ！變だぞ、舟が流れてゆくしかも、空舟が一艘、三艘、——おいッ、こいつアたゞ事ぢやないぞ！」

起ぬけに川ッぷちに出た弓削半六いきなり大聲に怒鳴り出した、——五月十八日の朝である。

「なに？空舟が流れてくる？——半六の奴、また、のぼせあがつたんぢやねえかな。」

小聲で、呟きながら、五六名の隊士、せきたてられるまゝに、岸邊に出てみると、なるほど、半六の言葉に違はず、上流から、空舟が、五艘、八艘、十艘——どん〳〵やけに流れてくる。

しかも、それが、水流の加減で悉く、目前の岸邊に寄り集まつて、くるから、半六を始め一同、ひさしく、奇異の眼を見張つた、

「何だらう。」

「變だなあ——」

「おい〳〵その邊で、首を捻つてゐたつて、わかるもんか——よしッ、俺が、調べてやらう。」

一時は狂人になつたほどの熱血兒半六は、やにはに赭黒い水をぢやぶ〳〵はねかへしながら水際に淀んでゐる舟に、近づいた

「おゝ、こいつア、愈々おかしい船どころしが皆與板藩のだぞ——うむ、怪しい。實に變だ！」

廣告

完全燃燒無煙　村上式　高熱ストーブ
店舖、事務室、及工場用として、他に比類なき理想的ストーブ
關東軍經理部　滿鐵會社　御採用
金物　百貨店　三笠町二丁目　西脇洋行

東省實業株式會社駐在所
長春日本橋通
電話（二八五五番）（三一八三番）

御料理　八千代館
長春吉野町
電話三一〇九七・三一〇四六番

御料理　開花
電話二一三六。二一〇三

カフエーミツワ
喫茶　洋食
電話2280
長春座裏通

入選　金牌拜受の人氣店
滿洲國名產　五色羹
自慢　長崎カステーラ
名代　峯のモナカ
和洋製菓　輸入組合加盟店
峯長春堂　電話三一九一番
同　市場內支店　電話二八四二番

製作元　合資會社　カナヘ商會製作所
新京曙町四丁目九　電話三七五〇番
本社　京城府元町一丁目
代理店　阿川組水道部
新京室町三丁目　電話三〇七五・三一二八番
（型錄進呈）

銘酒　月ケ瀨
釀造元　森川長春支店
電話三八〇八番
曙町二丁目

御待ち兼ねの『キツスイ』の喫茶店が生れました
朝……の輕い「トースト」の御食事
晝……御晝食後のレモンティー
夕……の御散策の御疲勞に江戶前のおしるこ
紅茶　コーヒー　しるこ　ぜんざい　ジャムトースパン　赤飯　各種ケーキ
出前迅速
吉野町二丁目　朝日堂喫茶部

各種撫順炭
指定販賣　泰利號
新京日本橋詰
電話三一六九・二七六〇番

僅かの電氣料で御飯が美味しく炊ける
文化『かまど』と保熱釜
萬能七輪
電氣コタツ
其他電熱器各種多數入荷
電氣の店　日本橋通
和登洋行
電話二〇四〇番

御待ち兼で——御座いました
最新流行形荷揃
各種フエルト・ゴム底
履物各種
新京吉野町二丁目一四
㊂小林履物店
電話二三四四番
輸入組合加盟店

新疊と上敷各種
表替と裏替
お電話を頂きましたら早速お見積りにお伺ひ致ます
日本一サカイ式疊床製作
新京東二條通滿鐵醫院西横
兒玉疊商店
電話二一九〇番

鍼灸治療は醫術の補足と見る可くリユウマチス神經痛の如き容易に治し難きものも旬日を出ずして容易に全治する事を得べし其の他瘍、チヨウ、セツの如き一切の腫物は切開せずして治療し瘢痕或は機能障害を胎すことなし
胃傷病特効藥並下熱セキ止メ肺炎の妙藥あり
新京室町三丁目七　公學校前
吉光堂療院
鍼灸師　勳七等　吉田光
電話三七三六

營業品目案內
マーキ籐椅子各種入荷
室內裝飾品
內外各織物
敷物種々
西洋家具類
日本橋通四十六番地
横山洋行支店
電話三八三一番
本店所在地
奉天浪速通二十七番地
電話二三九〇番
振替口座大連二六四〇
發電略號ホヨ

先ヅ健康
諸病氣は血液の不順より來ます血液の不順を治すには當院の血液循環療法にて健康を御保ち下さる樣御願ひ申上ます
自宅治療に限り全身治療（七十錢）小兒治療二十錢にて親切叮嚀に治療致ます、是非一度御來院を御願ひ申ます
アンマ　マツサージ　オンシツプ　小兒はり
血液循環治療院　横山正二郎
新京曙町四丁目二番地
但し滿鐵病院南裏長春寺向側
呼出電話二九三三番

食料品と雜貨は市場の日華洋行へ
配達は飛行式
電話三四三三・三八二五番

◎開業廣告
富士町三丁目
富士タクシー
高級新車
迅速叮嚀
電話三一九五番

煖房、水道
衞生工事
洋灰加工
其他附帶工事
建材製造販賣
工事請負
吉備洋行
電話三八三番　工場二七六〇番

盛京時報
本社奉天
新京支社　祝町二ノ二〇　電話二五一七
創刊明治三十九年、滿洲に於ける漢字新聞として最古の歷史を有し、多年扶植培養せる信望と勢力とは確固不動、滿洲及び北方支那の言論界に於て、斷然之の王座を佔む、實に滿洲の文化的開發と指導の最高權威也

初春の衣裝
新柄陳列
吉野町二丁目
村岡呉服店
電話二二二四番

最上　味付澤庵
並物澤庵
最上　奈良漬
粕漬大根
福神漬
良京漬
白菜漬
紅生姜
梅干
梅紅漬
カラシ漬
皮引澤庵
皆樣上記の物揃つて居ます
味自漫安くて美味しい
多少に不拘御屆けします
電話三七三二番（ミナサンニ）
日本橋　寶洋行漬物部

建築金物部新設
機械工具
土木用品
鐵道用品
煖房用品
建築材料
各品在庫豐富
鳥羽洋行支店
新京曙町四丁目十四番地
電話三三二四番
本店大連

朝鮮銀行新京支店（日本銀行代理店）
本店　京城
支店・出張所
內地、東京、大阪、大阪西區、神戶、下關
朝鮮、釜山、大邱、仁川、平壤、鎭南浦、元山、群山、木浦、清津、會寧
滿洲、大連、旅順、營口、遼陽、奉天、奉天市街、鐵嶺、開原、四平街、安東縣、哈爾賓、傅家甸、錦州、齊々哈爾
支那、上海、青島、天津
米國　紐育、英國　倫敦（駐在員）
金勘定預金貸出、爲替事務ノ外鈔票勘定滿洲國幣勘定ヲモ取扱仕候
電話　營業所宿直　三六一六番　支配人舍宅　三二六番　次席舍宅　二一〇六番

親切　叮嚀
確實
首都新京に唯一つの地場銀行を御利用下さい
三笠町三丁目
株式會社　長春實業銀行
電話二〇三三・二九四四番

驛	時刻
大連開	[illegible]
周水子	[illegible]
金州	[illegible]
普蘭店	[illegible]
瓦房店	[illegible]
熊岳城	[illegible]
蓋平	[illegible]
大石橋	[illegible]
海城	[illegible]
湯崗子	[illegible]
鞍山	[illegible]
遼陽	[illegible]
蘇家屯	[illegible]
奉天到	[illegible]
奉天開	[illegible]
鐵嶺	[illegible]
開原	[illegible]
昌圖	[illegible]
四平街	[illegible]
公主嶺	[illegible]
范家屯	[illegible]
長春到	[illegible]
長春開	[illegible]
范家屯	[illegible]
公主嶺	[illegible]
四平街	[illegible]
昌圖	[illegible]
開原	[illegible]
鐵嶺	[illegible]
奉天到	[illegible]
奉天開	[illegible]
蘇家屯	[illegible]
遼陽	[illegible]
鞍山	[illegible]
湯崗子	[illegible]
海城	[illegible]
大石橋	[illegible]
蓋平	[illegible]
熊岳城	[illegible]
瓦房店	[illegible]
普蘭店	[illegible]
金州	[illegible]
周水子	[illegible]
大連到	[illegible]